

JSSM「情報セキュリティの日」公開討論会 電子決済の利便性と安全性管理 ＜進化する少額決済を中心に＞

平松 雄一
電子商取引安全技術研究組合
E-mail:hiramatsu@ecsec.org
日本セキュリティ・マネジメント学会



電子決済とは

□ 電子決済(e-Payment)とは

代金決済をカード/電子マネー等の電子的方法で支払うこと。
リアル場面やインターネット等バーチャル場面で、記名による特定者のみに限定せず、不特定多数が参加して利活用される。

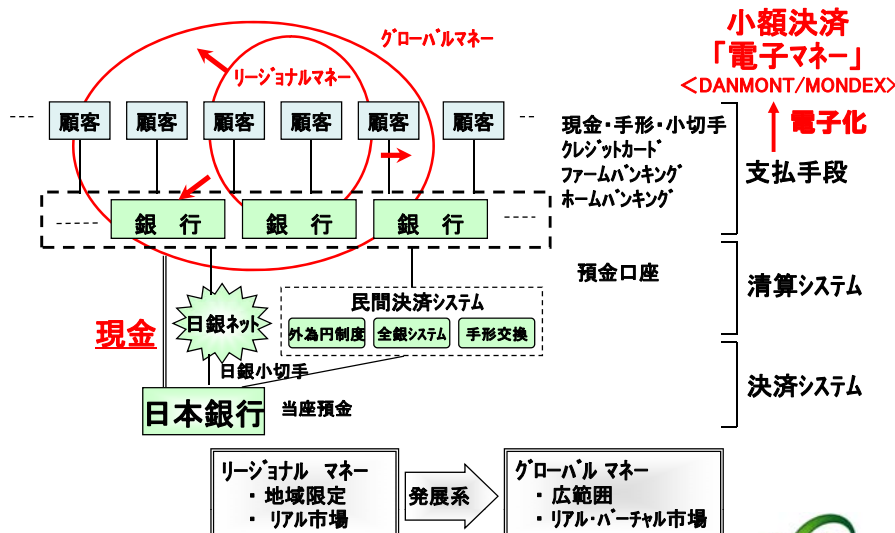
このため 安心・安全・信頼等の確保が前提となり、法的整備と共に、構築に際し、セキュリティ面の安全性確保が課題。

特に、当該事業者の企業倫理と共に、利用者への説明責任が求められる。また、悪戯に利便性・収益性のみにイノベーションを求めてはならない。

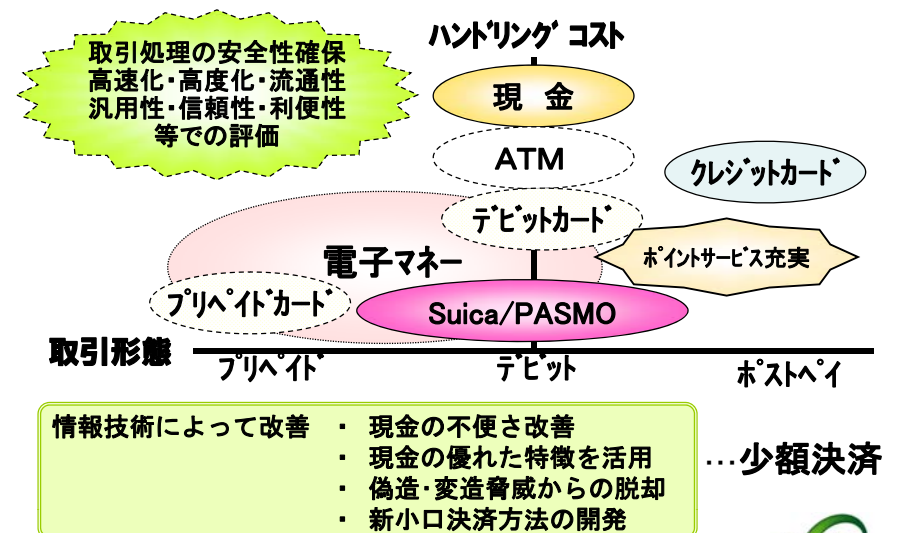
一方、利用者は当該サービスについて十分に理解し、責任・義務を忘れた権利のみの追求に終始してはならない。



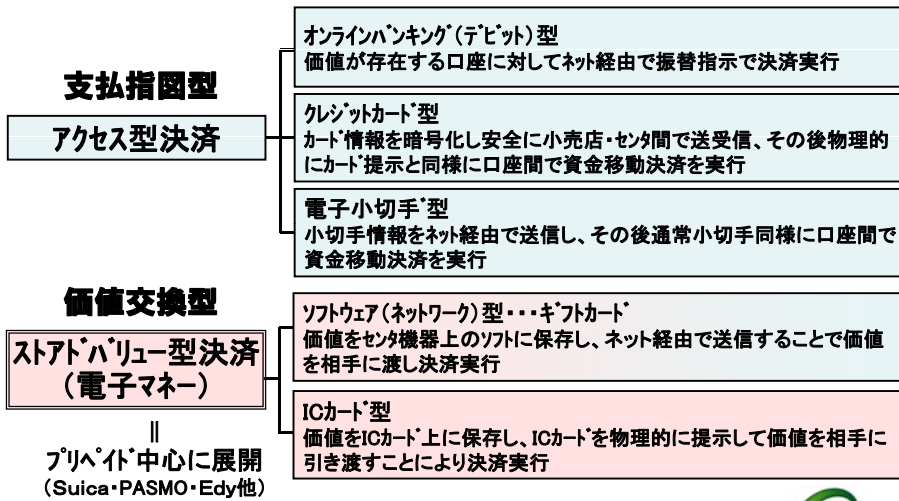
小額決済の位置づけ



少額決済手段の区分



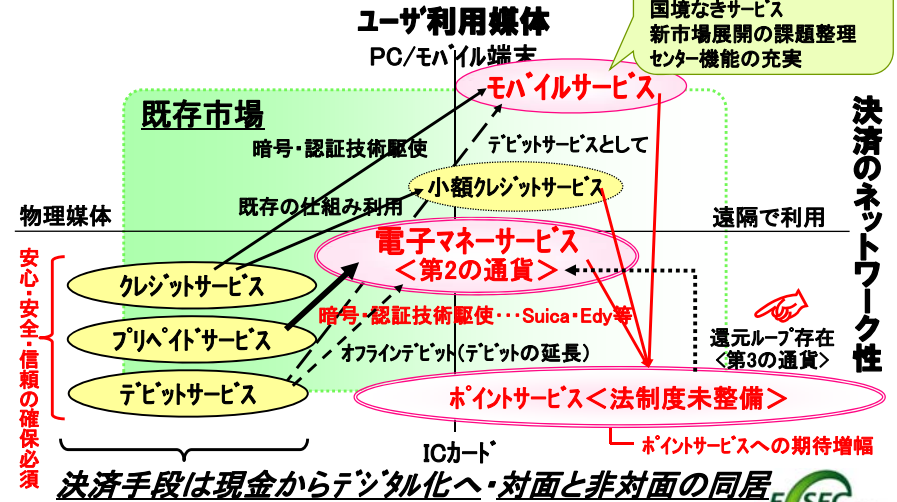
電子決済手段の分類



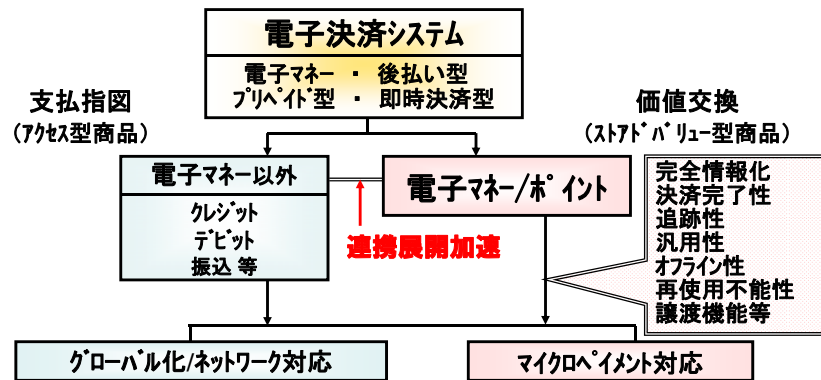
電子決済サービスの現況

目的:リアル/バーチャル融合社会への対応

モバイル機器の多様化
ハブリー(おサイフ携帯)搭載
国境なきサービス
新市場展開の課題整理
センター機能の充実



電子決済システムの動作区分

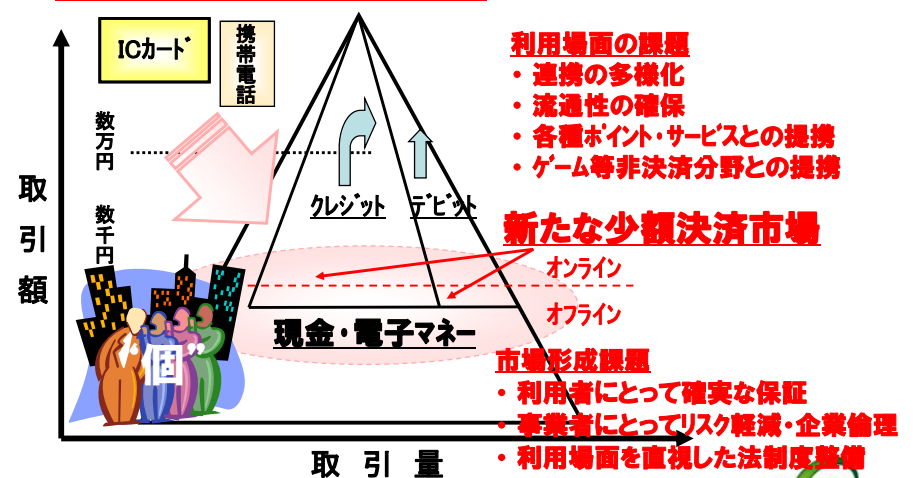


利用者・生活者の選択肢に対して
取引処理の安全性・流通性・汎用性・信頼性・利便性・高速性等を確保
信頼社会の構築



利用場面に適応した決済手段選択

利用媒体は日常生活の重要ツール ⇒ 安全性に基づく基盤構築

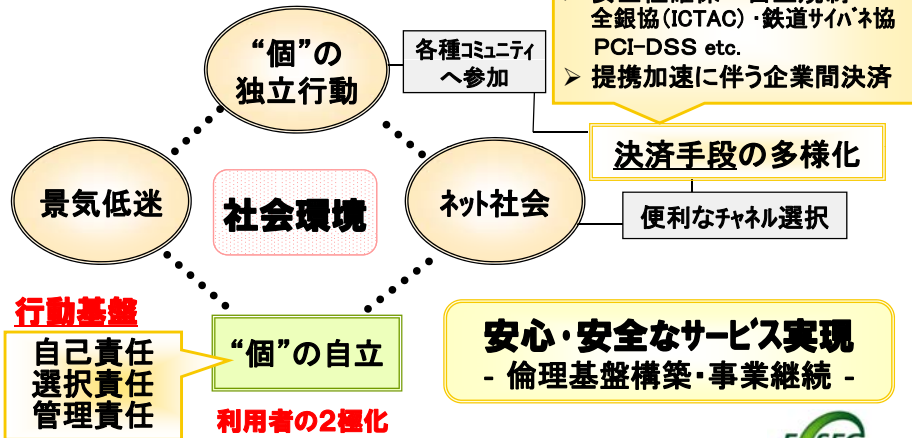


“個”の行動と社会環境

遅滞なき法制度整備！
“個”と利用場面の理解

実現基盤(手段)

- ICカード・ネットワークを基盤
- 安全性確保…自主規制 全銀協 (ICTAC) ・鉄道サイバネ協 PCI-DSS etc.
- 提携加速に伴う企業間決済



創発される新たな信頼社会

ネットワークを基盤とする社会

- ◆ グローバルな情報授受
- ◆ 情報に基づく社会生活
- ◆ 情報に基づく産業活動

新たな社会貢献

- ◆ セキュアな“モノ”造り
- ◆ クリエイティブな人材育成
- ◆ 居住環境の再構築

セキュアな信頼社会構築

活動の基盤

- ◆ 情報の価値化・知識化
- ◆ 情報の容易化・迅速化
- ◆ 情報の安全・信頼確保

基本的行動

- ◆ 安心・安全な情報流通
- ◆ 新たな文化・慣習構築
- ◆ “個(利用者)”の自立ある行動
- ◆ リアル場面と融合した行動

